

HIROSE-HOSP. HIROSE-HOSP.

ひろせほすぷ 2008

広瀬病院 新入社員紹介

広瀬病院の新入社員を
紹介いたします。

- ①職種
- ②血液型
- ③趣味
- ④ひと言



津根 和 恵

- ①管理栄養士
- ②O型
- ③ビデオ鑑賞
- ④美味しい食事をおだしするように頑張っています。宜しくお願いします。



岡 田 淳

- ①調理師
- ②AB型
- ③スーパー散策
- ④頑張ってます。宜しくお願いします。



谷 本 清 子

- ①リハクラーク
- ②O型
- ③読書
- ④一期一会の気持ちで患者様に接したいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



米岡小夜子

- ①調理員
- ②AB型
- ③水彩画、映画鑑賞
- ④宜しくお願いします。



梶原昌代

- ①医事課職員
- ②O型
- ③音楽鑑賞
- ④頑張りますので、宜しくお願いします。



谷 本 絵 美

- ①医事課職員
- ②O型
- ③雑貨屋巡り、旅行
- ④笑顔で頑張ります。宜しくお願いします。



近藤里美

- ①看護師
- ②AB型
- ③料理、ショッピング
- ④笑顔を絶やさず頑張ります。



浅野弘子

- ①看護助手
- ②B型
- ③犬との散歩、映画鑑賞
- ④超天然おポケキアラです。ご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、よろしく願いたします。



西尾孝太

- ①准看護師
- ②A型
- ③スポーツ
- ④よろしくお願いします。



河野正晴

- ①理学療法士
- ②AB型
- ③野球、車椅子バス
- ④元気よく笑顔で頑張ります。



低田真実

- ①看護助手
- ②O型
- ③映画鑑賞
- ④一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

手術部

広瀬病院手術部の紹介

広瀬病院では、従来から整形外科領域の手術を多く手がけてきました。今回は手術部の紹介をさせていただきます。最近、手術件数は右肩上がりが増えてきており、昨年（平成19年）の実績は193件でした。このうち全身麻酔での手術が109例と過半数を占めています。部位別では、膝・股関節などの下肢手術と手の外科などの上肢手術が大部分を占め、脊椎手術はごく少数です。骨折の手術が最も多いのですが、人工関節置換術が8例、前十字靭帯の再建術が8例など、他院からの紹介例も少しずつ増えてきました。

年度別OP統計推移表(2003年～2007年)



周術期看護に
取り組んでいます!



手術部スタッフ

手術部は主任1名とローテーション看護師で構成されています。3ヶ月の初期研修ローテーションの他、後期研修(advanced course)を行って看護師のレベルアップに努め、複雑な手術はベテラン看護師が担当するシステムになっています。院外研修(日本手術室看護学会など)にも積極的に参加し、手術がより安全に円滑に行えるよう、周術期看護に日々取り組んでいます。



手術室主任 西村

手術室

手術室のハード面では、HEPAフィルター(High Efficiency Particulate Air Filter)を通した清浄な空気が一方向性に流れるように設計されており、手術室の清浄度はNASAのクラス



1000となっています。「NASAクラス1000」とは、1立方フィートの空気中に浮遊する粒子数(径0.5μm以上)が1000以下という意味です。これは、特に清潔度が要求される人工関節手術に適した「無菌手術室」に該当します。また、ドアの開閉などの際に外部の空気が流れ込まないように、手術室は陽圧に保たれています。



感染予防

患者様にとっても医療スタッフにとっても、整形外科手術の術後感染は実に厄介な合併症です。当院での術後感染（深部感染）は過去5年間に1例（感染率0.12%）でした。1%未満の低率ですが、可能な限りゼロに近づけるよう、基本に基づいた感染予防策を行っています。前述のハード面が優れていることはもちろんですが、それに頼ることなく常に手術室内を清潔に保ち、てきぱきとした「プロの仕事」を目指しています。血糖値の管理・前日のシャワー浴・手術直前の除毛・皮膚消毒・必要最小限の抗生剤投与など手術前から私たちの仕事は始まっています。



ことはもちろんですが、それに頼ることなく常に手術室内を清潔に保ち、てきぱきとした「プロの仕事」を目指しています。血糖値の管理・前日のシャワー浴・手術直前の除毛・皮膚消毒・必要最小限の抗生剤投与など手術前から私たちの仕事は始まっています。



院長のコメント

スタッフの頑張りのおかげで、少しずつ手術件数も伸びてきました。これからも適応を吟味して、より安全で確実な手術を目指していきたいと思っています。

回復期リハビリテーション病棟・研修会

平成20年2月23日、24日の2日間に渡り、全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会主催の第14回全国研修会に当院から4名参加してきました。



テーマは「カンファレンスの現状からみる問題点の抽出」と「理想的なカンファレンスの実現を目指して」についてです。施設・職種を問わず1グループ6～7名程度でグループ分けされ、話し、グループごとに発表しました。他の施設スタッフと関わることが少ない中、多職種と話し合う場でたくさんの刺激を受けました。職種・施設が違うため個々の問題点は多少異なりましたが、有意義な2日間でした。この機会を当院でのカンファレンスに生かして更に各職種が何でも話し合える病院を目指していきたいと思っています。



この経験を生かして
がんばりましょう！



四国リハビリテーション学院同窓会学術大会特別講演

2月10日、四国リハビリテーション学院同窓会学術大会（現四国医療専門学校、リハビリ大塚、入船、井上、北山、鵜川の出身学校）にて当院院長が「高齢者におこる骨折の治療戦略の立て方」のテーマで特別講演を行いました。



骨折の発生機序、治療法について、手術療法・保存療法の利点・欠点、手術方法の変遷、予後、合併症について、当院での大腿骨頸部骨折の治療成績などについて講演しました。

当院でも、早期離床を目的に手術前より積極的にリハビリテーションを行っています。折れたからくっつけばよいのではなく、患者様の生活に沿った生活の質の向上を目指して、スタッフ一同リハビリテーションを提供していきたいと思っております。



新ベッド・マットの特長



- 体圧を理想的に分散。低反発ウレタンを採用
- 抗菌フィルムで院内感染を防ぎます。
- 難燃性、耐久性に優れます。

- 症状による使い分けができるソフト・ハードの2層構造
- 計量かつ持ち運びがしやすい

医療法人社団研宣会

専門性を生かした

患者様中心の医療と看護

 広瀬病院

〒760-0079 高松市松縄町35-3 TEL: 087-867-9911(代) FAX: 087-867-9988

ホームページ <http://www.hirose-hosp.or.jp>

Email info@hirose-hosp.or.jp

発行者：医療法人社団研宣会理事長 広瀬友彦

編集：広瀬病院広報委員会

発行日：平成20年4月